

「阿久根中学校の阿久根ハンヤ節踊り伝承活動の取組」

1 学校名

阿久根市立阿久根中学校

2 学年・人数

1～3年生（計267人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年7月13日（木） 総合的な学習の時間（本校グラウンド）

令和5年7月18日（火） 保健体育（本校グラウンド）

(2) 発表の日時・場所

令和5年7月29日（土）阿久根みどこい夏祭り（阿久根市中央公園付近）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

阿久根ハンヤ節踊り（あくねはんやぶしおどり）

(2) 由来

夏祭りやひな女祭りなど阿久根各所で踊られる「ハンヤ節踊り」で歌われるハンヤ節は、阿久根を代表する民謡である。もともとは奄美の「六調（ろくちょう）」をもとに、船乗り達により阿久根・牛深に運ばれて「ハンヤ節」を形づくり、船乗りにより全国各所で地域によって形を変え広がったと考えられている。

(3) 構成等

特になし

5 保存会や地域との連携の具体

本校では、数年前から地域の日本舞踊藤間流師範を講師に招聘し、ハンヤ節踊りとおはら節踊りの練習を総合的な学習の時間や保健体育の授業で実施している。コロナ禍前は、体育大会で発表していたが、現在は体育大会の規模縮小もあり、阿久根みどこい夏祭りに出場し、発表している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながらハンヤ節踊りを継承していくために、ハンヤ節踊りの練習を授業の一環として位置付け、全生徒で取り組んでいる。阿久根みどこい夏祭りでは、生徒会や部活動の生徒を中心に披露している。また、保護者にも参加を呼び掛けて、親子で参加する家庭も多くなっている。今後も継続し、地域と連携して伝承していく体制づくりを整えていきたい。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習の風景】



【練習の風景】



【阿久根みどこい夏祭りでの発表】



【阿久根みどこい夏祭りでの発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

最初の練習の時は、覚えることができるか不安であったが、昼休み等の時間を使って友達と一緒に練習して、阿久根みどこい夏祭りでは部活動の仲間と楽しく踊ることができた。また、沿道の地域の方から、たくさんの激励や応援の声を掛けていただき、うれしかった。

【教職員】

全校生徒が練習に笑顔で取り組んでおり、地域の伝統芸能を継承しようとする気持ちが伝わってきた。夏祭り本番では、部活動の生徒や保護者を中心に約100名の参加があり、保護者もとても協力的である。ふるさとの郷土芸能であるハンヤ節踊りを通して、生まれ育っている地域への誇りや愛着を子供に育みたいという親の願いがあるように思われる。

【保存会から】

今後も地域の伝統芸能の一つである阿久根ハンヤ節踊りを継承していくために協力をしていきたい。

【地域の方から】

- ・ 子供の活動を通して、保護者も学校や地域とのつながり、伝統芸能の継承に携わることができている。
- ・ 中学生が、楽しそうに踊っている姿を見て、うれしい気持ちになった。これからも地域全体で子供の健全育成を図っていきたい。